

GSC020-P04

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

## 建築研究所国際地震工学センターが公開している2つの地震カタログ Earthquake Catalogs at the web site of the IISEE, BRI

原 辰彦<sup>1\*</sup>

Tatsuhiko Hara<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>建築研究所 国際地震工学センター

<sup>1</sup>IISEE, BRI

建築研究所国際地震工学センターが公開している2つの地震カタログを紹介する。一つは「世界の大地震の震源メカニズム、余震分布、震源断層面及び震源過程」である。1994年以降に世界で発生したMw7.2以上の地震について、センターの研究者及び客員研究員が開発した解析手法を用いて震源メカニズム、余震分布、震源断層面及び震源過程を推定し、結果を公開している（日本語版：[http://iisee.kenken.go.jp/eqcat/Top\\_page\\_jp.htm](http://iisee.kenken.go.jp/eqcat/Top_page_jp.htm), 英語版：[http://iisee.kenken.go.jp/eqcat/Top\\_page\\_en.htm](http://iisee.kenken.go.jp/eqcat/Top_page_en.htm)）。もう一つは、「世界の被害地震の表」である。宇津徳治東京大学名誉教授が編集された地震カタログで、2003年から建築研究所国際地震工学センターが継承し、被害地震情報の追加及び公開を行っている（日本語版：<http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>, 英語版：[http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index\\_eng.html](http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index_eng.html)）。本講演では、これらの地震カタログの地震情報と、地震動の減衰式、簡単な建築物の被害推定手法を組み合わせ、地震・地震被害についての啓蒙普及の仕組みを提案する。

キーワード:地震カタログ,被害地震,地震・地震被害についての啓蒙普及

Keywords: Earthquake catalog, Damaging earthquakes,  
Outreach framework for earthquakes and seismic damages